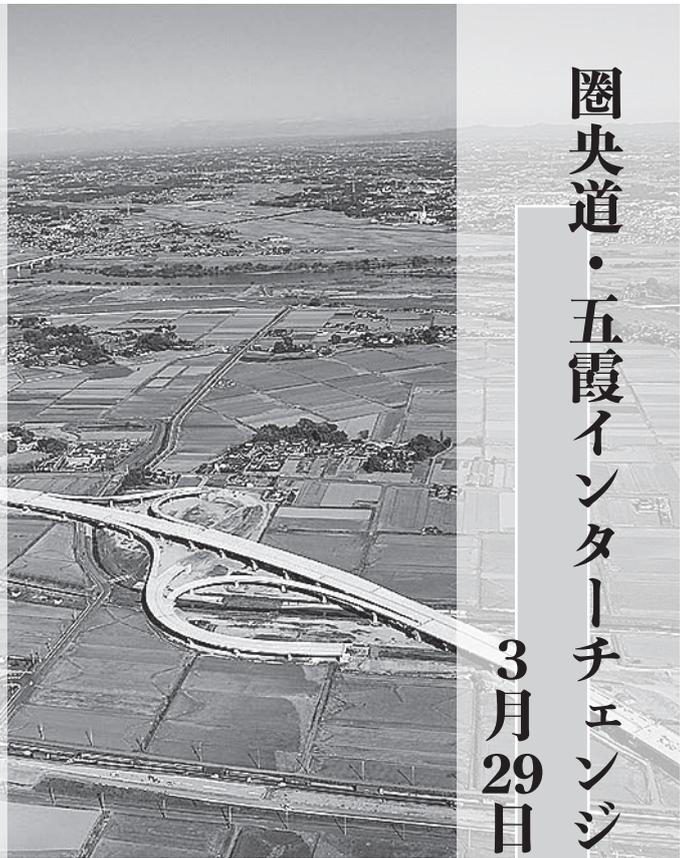


圏央道・五霞インターチェンジが

3月29日(日)に開通します



3月29日(日)首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の五霞インターチェンジが開通します。

今回の開通により埼玉県久喜市から境町までの区間がつながり、久喜白岡ジャンクションから東北道が利用できるようになります。

圏央道は都心から半径およそ40km〜60kmの位置に計画された、延長約300kmの高規格幹線道路です。

圏央道が整備されることで、交通が集中することが多い都心を経由せずに、他地域へ移動できるため、人・物の交流が活発となり、地域の活性化が期待されます。

平成27年度には、東西へさら

に延伸する予定です。境古河インターチェンジからつくば中央インターチェンジ区間の開通により、常磐道・東関東道へ、桶川北本インターチェンジから白岡菖蒲インターチェンジ区間の開通により、関越道・中央道・東名高速へ接続できるようになります。

五霞インターチェンジの開通に向けて、引き続き工事を進めてまいりますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願います。

お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局
北首都国道事務所

☎ 048(942) 4041



五霞インターチェンジ周辺地区 土地区画整理組合設立総会が開催されました

1月18日、ふれあいセンターにおいて、地権者をはじめ多数の出席者のもと五霞インターチェンジ周辺地区土地区画整理組合設立総会が開催されました。

本組合は、圏央道五霞インターチェンジ周辺に位置する江川・幸主・冬木地内の一部37.1ヘクタールにおいて、商業・工業・流通など新たな複合型産業拠点の形成を図ることを目的に設立されました。

総会には、国・県議会議員をはじめ、町長、議長のほか多くの来賓者が招待され、役員選出、平成26年度収支予算、業務代行規程を含む諸規定などすべての議案が承認されました。

総会終了後、第1回理事会が開催され、橋本由郎氏が理事長に選任され、業務代行者として清水建設(株)、エム・ケー(株)が決定されました。

また、理事会終了後の祝賀会において、橋本理事長から「町と話し合いながら事業に取組み、軸となる商業施設の誘致を進めていきたい。」という挨拶がありました。

本事業は、3月に造成工事のための準備工に入り、4月に安全祈願祭の開催が予定されてい

ます。

その後、本格的に造成工事が実施され、平成31年度に組合の解散を予定しています。

町は、本組合と連携を図りながら、新たな産業拠点の整備、雇用の創出を図り、町の活性化を進めていくため、事業費の一部を負担するとともに、組合に対して技術援助を行っていきます。また、新4号の複線化、圏央道五霞インターチェンジの開通など交通の利便性を生かし、積極的に企業誘致を進めていく予定です。



総会の様子